



2023年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社Laboro.AI 上場取引所 東
 コード番号 5586 URL https://laboro.ai/
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名) 椎橋徹夫
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理部長 (氏名) 安達大輔 (TEL) 03-6280-6564
 定時株主総会開催予定日 2023年12月21日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月21日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の業績 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	1,369	86.8	206	-	193	-	139	-
2022年9月期	733	11.6	△55	-	△55	-	△39	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	9.70	9.41	8.2	10.2	15.1
2022年9月期	△3.31	-	△5.8%	△6.4%	△7.5

(注) 1. 2022年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2022年9月期末において非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

2. 当社は2023年7月31日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年9月期末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
2023年9月期	2,490	141.96	2,248	141.96	90.3	141.96
2022年9月期	1,319	83.09	1,169	83.09	88.6	83.09

(参考) 自己資本 2023年9月期 2,247百万円 2022年9月期 1,169百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	116	△15	876	1,943
2022年9月期	△182	△54	987	965

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2022年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年9月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,644	20.1	210	1.9	210	8.4	143	2.9	9.07

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期	15,837,628 株	2022年9月期	14,077,828 株
② 期末自己株式数	2023年9月期	- 株	2022年9月期	- 株
③ 期中平均株式数	2023年9月期	14,391,217 株	2022年9月期	12,051,657 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について）

当社は、2023年11月21日（火）に機関投資家及びアナリスト向けに、2023年12月14日（木）に個人投資家向けに説明会（ウェブ）を開催する予定です。なお、当日使用する決算説明資料は、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	1
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、「すべての産業の新たな姿をつくる。」「テクノロジーとビジネスを、つなぐ。」をミッションに掲げ、各業界の代表的な企業との協働を通じ、企業や産業、そして社会の長期的・本質的な構造転換に貢献することを目指しております。

当事業年度における我が国の経済環境は、新型コロナウイルスの対策進展や行動制限の緩和を通じ、景気は堅調に推移している一方で、ロシアのウクライナ侵攻の長期化や国内外マクロ経済におけるインフレ・金融引き締め傾向が見られつつあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社が属するAIソリューション市場においては、「Chat GPT」をはじめとする大規模言語モデルの技術革新の進捗などの結果、企業の競争力の強化や人材不足への対応から幅広い産業で積極的な投資が行われており、事業環境は堅調に推移しております。

(売上高)

売上高は、人員増加に伴う営業活動強化の結果、新規顧客獲得件数は11件に達し、当事業年度における売上高は1,369,186千円（前期比+86.8%）となり、前事業年度から636,137千円増加いたしました。

(売上原価、売上総利益)

売上原価は、481,070千円（前期比+121.2%）となりました。主な内訳は、労務費及び業務委託料であります。

以上の結果、売上総利益は888,115千円（前期比+72.2%）となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

販売費及び一般管理費は681,844千円（前期比+19.5%）となりました。これは主に、人件費及び先行投資としての採用費用、積極的なマーケティング活動に伴う広告宣伝費であります。

以上の結果、営業利益は206,271千円（前年度は55,043千円の営業損失）となりました。

(営業外損益、経常利益)

経常損益については、営業外収益として302千円（前期比+90.6%）、営業外費用として主に上場関連費用の計上があったことにより12,623千円（前年度は496千円）計上し、193,950千円の利益（前年度は55,381千円の損失）となりました。

(特別損益、当期純利益)

当事業年度における特別損益の計上はありませんでした（前年度は295千円の特別損失）。

以上の結果、当事業年度の税引前当期純利益は193,950千円（前年度は55,676千円の税引前当期純損失）となり、法人税等を54,397千円計上したことにより、当期純利益は139,552千円（前年度は39,846千円の当期純損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度における資産合計は、2,490,752千円となり、前事業年度末より1,171,185千円増加しました。流動資産は2,414,933千円となり、固定資産は75,819千円となりました。流動資産の主な内訳は、現金及び預金1,943,577千円、売掛金及び契約資産461,062千円であり、前事業年度末からの主な変動要因は、当社株式上場に伴う株式の発行等による現金及び預金増加、売上高増加に伴う売掛金及び契約資産の増加であります。固定資産の内訳は有形固定資産41,238千円、投資その他の資産34,580千円であり、前事業年度末から重要な変動はありません。

(負債)

当事業年度における負債合計は、242,484千円となり、前事業年度末より92,603千円増加しました。流動負債は242,484千円となり、固定負債の計上はなくなりました。流動負債の主な内訳は、未払費用64,377千円、未払消費税等59,629千円、未払法人税等56,340千円であり、前事業年度末からの主な変動要因は、従業員が増加したことによる人件費関連の未払費用の増加、売上高増加による未払消費税等の増加、税引前当期純利益に伴う未払法人税等の増加であります。固定負債は、長期借入金を全額返済したことにより、当事業年度末の残高はなくなっております。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、2,248,267千円となり、前事業年度末より1,078,581千円増加しました。主な内訳は、資本金1,004,513千円、資本剰余金994,513千円、利益剰余金248,924千円であり、前事業年度末からの主な変動要因は、当社株式上場に伴う株式の発行等による資本金及び資本準備金の増加、当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、主に当社株式上場に伴う株式の発行による資金の払込により、前事業年度末と比べ977,799千円増加し、当事業年度末においては、1,943,577千円となりました。当事業年度における各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は116,534千円となりました（前事業年度は182,209千円の支出）。これは主に税引前当期純利益193,950千円の計上、未払消費税等の増減額59,629千円、未払金及び未払費用の増減額27,177千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は15,464千円となりました（前事業年度は54,495千円の支出）。これは、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果調達した資金は876,729千円となりました（前事業年度は987,723千円の収入）。これは、長期借入金の返済による支出62,300千円、株式の発行による収入939,029千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2024年9月期の見通しにつきましては、国内外のマクロ経済環境におけるインフレ・金融引締めなど、依然として先行き不透明な状況でありながら、引き続き競争力強化や人材不足への対応から幅広い産業でのAIをはじめとするDX投資は堅調に進捗すると見立てております。

かかる環境の下、顧客の新商品開発や新サービス開発、新規事業創出といった「バリューアップ」領域における顧客のDX投資需要を獲得すべく、積極的に事業の展開を図るとともに、組織強化と人材増強に努めてまいります。

具体的には、積極的なマーケティング活動、及び顧客の経営層へのアプローチといった営業活動を通じ、新規顧客の獲得や既存顧客とのプロジェクトの継続・拡大に注力してまいります。また、これまでのプロジェクトで培ったノウハウをソリューション化し、効率的な顧客獲得へ繋げる「バリューディストリビューション」活動も加速化する方針です。こうした活動の結果、市場成長を超える売上成長率の実現と、中期的な組織成長に向けた体制構築を両立して進めていくことを目指します。

以上を踏まえ、当社の2024年度9月期の業績予想につきましては、以下を見込んでおります。

	売上高	売上総利益	営業利益
2023年9月期実績 (A) (千円)	1,369,186	888,115	206,271
2024年9月期予想 (B) (千円)	1,644,342	1,024,271	210,257
増減額 (B-A) (千円)	275,156	136,155	3,985
増減率 (%)	20.1%	15.3%	1.9%

なお、当業績予想は、現時点の入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性があることを予めご承知ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	965,777	1,943,577
売掛金及び契約資産	245,935	461,062
前払費用	11,375	8,975
その他	6,130	1,318
流動資産合計	1,229,219	2,414,933
固定資産		
有形固定資産		
建物	31,768	32,068
減価償却累計額	△1,871	△4,969
建物(純額)	29,897	27,099
工具、器具及び備品	33,190	47,229
減価償却累計額	△19,702	△33,090
工具、器具及び備品(純額)	13,488	14,139
有形固定資産合計	43,385	41,238
投資その他の資産		
敷金及び保証金	26,370	25,580
繰延税金資産	20,591	9,000
投資その他の資産合計	46,961	34,580
固定資産合計	90,347	75,819
資産合計	1,319,566	2,490,752

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,612	10,091
1年内返済予定の長期借入金	10,440	-
未払金	15,225	25,139
未払費用	47,114	64,377
未払法人税等	-	56,340
未払消費税等	-	59,629
預り金	17,628	26,906
流動負債合計	98,020	242,484
固定負債		
長期借入金	51,860	-
固定負債合計	51,860	-
負債合計	149,880	242,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,999	1,004,513
資本剰余金		
資本準備金	524,999	994,513
資本剰余金合計	524,999	994,513
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	109,371	248,924
利益剰余金合計	109,371	248,924
株主資本合計	1,169,369	2,247,951
新株予約権	316	316
純資産合計	1,169,686	2,248,267
負債純資産合計	1,319,566	2,490,752

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	733,049	1,369,186
売上原価	217,437	481,070
売上総利益	515,611	888,115
販売費及び一般管理費	570,655	681,844
営業利益又は営業損失(△)	△55,043	206,271
営業外収益		
受取利息	2	14
その他	156	287
営業外収益合計	158	302
営業外費用		
支払利息	297	186
為替差損	198	326
上場関連費用	—	12,109
営業外費用合計	496	12,623
経常利益又は経常損失(△)	△55,381	193,950
特別損失		
固定資産除却損	295	—
特別損失合計	295	—
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△55,676	193,950
法人税、住民税及び事業税	950	42,806
法人税等調整額	△16,780	11,591
法人税等合計	△15,830	54,397
当期純利益又は当期純損失(△)	△39,846	139,552

【売上原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)		当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 労務費	※	157,693	73.1	277,845	57.8
II 経費		58,050	26.9	203,027	42.2
当期総製造費用		215,743	100.0	480,872	100.0
仕掛品期首棚卸高		1,891		198	
合計		217,635		481,070	
仕掛品期末棚卸高		198		-	
売上原価		217,437		481,070	

(注) ※ 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
業務委託料	44,255	148,883
クラウドサービス料	8,251	41,972
減価償却費	4,904	7,757

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	34,999	24,999	24,999
会計方針の変更による累積的影響額			
会計方針の変更を反映した当期首残高	34,999	24,999	24,999
当期変動額			
新株の発行	499,999	499,999	499,999
当期純損失(△)			
新株予約権の発行			
当期変動額合計	499,999	499,999	499,999
当期末残高	534,999	524,999	524,999

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	148,755	148,755	208,755	—	208,755
会計方針の変更による累積的影響額	463	463	463		463
会計方針の変更を反映した当期首残高	149,218	149,218	209,218		209,218
当期変動額					
新株の発行			999,998		999,998
当期純損失(△)	△39,846	△39,846	△39,846		△39,846
新株予約権の発行				316	316
当期変動額合計	△39,846	△39,846	960,151	316	960,467
当期末残高	109,371	109,371	1,169,369	316	1,169,686

当事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	534,999	524,999	524,999
当期変動額			
新株の発行	469,514	469,514	469,514
当期純損失(△)			
当期変動額合計	469,514	469,514	469,514
当期末残高	1,004,513	994,513	994,513

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	109,371	109,371	1,169,369	316	1,169,686
当期変動額					
新株の発行			939,029		939,029
当期純損失(△)	139,552	139,552	139,552		139,552
当期変動額合計	139,552	139,552	1,078,581	-	1,078,581
当期末残高	248,924	248,924	2,247,951	316	2,248,267

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△55,676	193,950
減価償却費	11,171	17,616
敷金償却費	356	789
受取利息	△2	△14
支払利息	297	186
固定資産除却損	295	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△86,545	△215,126
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△1,949	1,949
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,104	2,479
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,689	59,629
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△2,731	27,177
その他	4,967	16,516
小計	△154,610	105,153
利息の受取額	2	14
利息の支払額	△297	△186
法人税等の支払額	△27,304	△862
法人税等の還付額	-	12,415
営業活動によるキャッシュ・フロー	△182,209	116,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,509	△15,464
敷金及び保証金の差入による支出	△17,584	-
敷金及び保証金の返還による収入	3,359	-
その他	△762	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,495	△15,464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△12,591	△62,300
株式の発行による収入	999,998	939,029
新株予約権の発行による収入	316	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	987,723	876,729
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	751,018	977,799
現金及び現金同等物の期首残高	214,759	965,777
現金及び現金同等物の期末残高	965,777	1,943,577

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、カスタムAIソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	83.09円	141.96円
1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△)	△3.31円	9.70円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	-	9.41円

- (注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は前事業年度末において非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
2. 当社は2023年7月31日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から当事業年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△39,846	139,552
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△39,846	139,552
普通株式の期中平均株式数(株)	12,051,657	14,391,217
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	433,373
(うち新株予約権(株))	-	(433,373)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権5種類(新株予約権の数 604,098個)	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。